

# 企業周辺の文化を訪ねる

—— しいなりい ——

群馬県

館林市



## 心あたたまるタヌキの物語を今に伝える、 潤い豊かな歴史あるまち

「鶴舞う形」といわれる群馬県の東南部、ちょうど鶴の頭の部分にある館林市。関東地方のほぼ中央に位置する要衝で、徳川五代将軍綱吉が将軍になる前の20年間、館林城主を務めるなど、代々、徳川家との関わりの深い大名家に治められてきた地です。南北に渡良瀬川、利根川と大きな河川が流れ、豊かな水資源と自然環境に恵まれています。



取材・写真協力：館林市役所

### ① つつじが岡公園

シーズンには樹齢800年超のヤマツツジをはじめ高さ5mの古木など、1万株ものツツジが咲き誇ります。隣接する城沼の水面に映るツツジも格別の趣。



### ② 分福茶釜

ワナにかかったところを助けられたタヌキが茶釜に化けて恩返しをしたという昔話の分福茶釜。この物語のルーツとされる茶釜は、館林市内の茂林寺に今も伝わっています。



### ③ 茂林寺

青龍山茂林寺は、室町時代中期の1426(応永33)年、大林正通禅師により開山された曹洞宗の名刹です。境内では「分福茶釜」などを拝観することができます。



### ④ こいのぼりの里まつり

市内5ヶ所で大小5,000匹超のこいのぼりが春風に吹かれて宙を泳ぎます。2005(平成17)年5月、5,283匹の掲揚数が、世界記録に認定されました。



### ⑤ うどん

日清製粉発祥の地である館林は歴史的にうどん食文化があり、1994(平成6)年に地元うどん店などにより《麺のまち「うどんの里 館林」振興会》が発足。まちおこしに役買っています。